

前事業年度の事業報告書

法人の名称:特定非営利活動法人アース・エコ

1. 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係わる事業

① 環境教育・環境学習に関する事業

- ・ 学校出前授業:(神奈川県派遣事業、横浜市環境出前講座、神奈川県立産業技術総合研究所)
小中学校延べ 19 校で合計 22 日、延べ 37 回出前授業を実施した。(前年度比 7 校増)
- ・ 環境教育出前講座フォローアップ
小学校 1 校で実施し、所定の成果をあげた。(前年度比増減なし)
- ・ 地域環境学習
横浜市緑区、港北区、青葉区、相模原市中央区、緑区の公共施設 7 会場で計 7 日環境学習を実施した。(前年度比 1 会場増)
- ・ その他の事業:(環境教育・環境学習受託実施及び派遣依頼)
公共施設、団体より環境教育・環境学習を受託し、4 施設で 4 日、子どもとその保護者、市民を対象に環境講座を実施した。(前年度比増減なし)

② 普及啓発事業

5 イベントに参加した。多くの人への啓発に成果をあげることができた。(前年度比 1 イベント減)

③ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

横浜市地球温暖化対策推進協議会、さがみはら地球温暖化対策協議会に参加し、普及啓発、地域環境学習参加実施等の成果を上げた。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係わる事業

① 環境教育・環境学習に関する事業

ア 小・中・高等学校環境教育・環境学習授業:神奈川県環境・エネルギー学校派遣事業出前授業

(11 校:葉山町立一色小学校、葉山町立上山口小学校、葉山町立葉山小学校、横浜市立長津田第二小学校、横浜市立田奈小学校、横浜市立飯田北いちょう小学校、葉山町立長柄小学校、大磯町立大磯小学校、横浜市立豊田中学校クラブ活動、相模原市立青野原小学校、横浜市立奈良の丘小学校クラブ活動)

- ・ 内 容 :地球温暖化対策環境教育(省エネ・新エネ体験と省エネ実践)
- ・ 日 数 :横浜市立田奈小学校は 2 日 2 回実施、葉山町立葉山小学校、大磯町立大磯小学校は 2 日に分けて実施、他は 1 日実施
- ・ 場 所 :各校の理科室、視聴覚室、多目的室等
- ・ 実施者 :各回 2~9 名、延べ 104 名
- ・ 対象者 :小学校 4~6 年児童、中学校 1~3 年生徒、延べ 810 名
- ・ 備 考 :前年度比 5 校増

イ 小・中学校環境教育事業:横浜市環境創造局環境教育出前講座

(1 校:横浜市立田奈小学校クラブ活動)

- ・ 内 容 :地球温暖化対策環境教育(省エネ・新エネ体験と省エネ実践)
- ・ 日 数 :1 日 1 回実施

- ・ 場 所 :理科室
- ・ 実施者 :7名
- ・ 対象者 :小学校4～6年児童、30名
- ・ 備 考 :前年度比1校減

ウ 小・中学校環境教育事業:神奈川県立産業技術総合研究所「なるほど！体験出前教室」

(6校:葉山町立葉山小学校クラブ活動、葉山町立長柄小学校クラブ活動、葉山町立一色小学校クラブ活動、平塚市立中原小学校、横浜市立笠間小学校クラブ活動、横浜市立城郷小学校クラブ活動)

- ・ 内 容 :地球温暖化対策環境教育(エネルギーに関連した理科実験、工作)
- ・ 日 数 :各校1日実施
- ・ 場 所 :各校の理科室
- ・ 実施者 :各回6～9名、延べ47名
- ・ 対象者 :小学校児童、延べ205名
- ・ 備 考 :前年度比2校増

エ その他の学校出前授業

(1校:横浜市立田奈小学校クラブ活動)

- ・ 内 容 :地球温暖化対策環境教育(省エネ・新エネ体験と省エネ実践)
- ・ 日 数 :1日実施
- ・ 場 所 :理科室
- ・ 実施者 :7名
- ・ 対象者 :小学校4～6年児童、30名
- ・ 備 考 :前年度比1校増

オ 学校教育支援事業

- ・ 内 容 :環境委員会等、学校全体の取り組みを支援し、CO₂排出量削減の取り組みの成果を検証した。
- ・ 回 数 :隔月1日環境委員会への支援と参加
- ・ 場 所 :横浜市立長津田第二小学校
- ・ 実施者 :各回1名
- ・ 対象者 :環境委員会児童約20名、担当教員
- ・ 備 考 :長津田第二小学校のフォローアップに関連して同校の「すぎの子まつり」(②ア)に参加し実施に協力した。
- ・ 備 考 :前年度比増減なし

カ 地域環境学習

- ・ 内 容 :エネルギー関連実験体験による省エネ意義の理解と実践行動へ導く環境教育・学習
- ・ 日 数 :7会場で7日実施
- ・ 場 所 :横浜市長津田地区センター、横浜市菊名地区センター、横浜市藤が丘地区センター、相模原市立環境情報センター、相模原市立星が丘公民館※、相模原市立清新公民館※、相模原市立橋本公民館※(※さがみはら地球温暖化対策協議会(③イ)の活動参加による)
- ・ 実施者 :各回5～8名、延べ43名
- ・ 対象者 :小学校児童とその保護者延べ196名
- ・ 備 考 :前年度比1増減なし

キ 環境教育・環境学習の受託実施及び講師派遣

- ・ 内 容 :省エネの意義、具体的エネルギー体験による省エネ意義の理解と実践行動へ導く環境教育・学習
- ・ 日 数 :4 会場で 4 日実施
- ・ 場 所 :相模原市立橋本こどもセンター、大磯町美化センター、横浜市磯子区役所、厚木市役所
- ・ 実施者 :各回 6~7 名、延べ 27 名
- ・ 対象者 :小学校児童等とその保護者、市民、延べ 95 名
- ・ 備 考 :前年度比増減なし

② 普及啓発事業

ア 普及啓発イベント参加事業

- ・ 内 容 :パネル展示、エネルギー実験等の体験型・参加型のプログラム、環境活動紹介等
- ・ 日 数 :5 会場で 5 日実施
- ・ 場 所 :エコ 10 フェスタ 2019(横浜公園)、さがみはら環境まつり 2019(ミウヰ橋本)、藤が丘地区センターまつり(横浜市藤が丘地区センター)、白山地区センターまつり(横浜市白山地区センター)、すぎの子まつり(横浜市立長津田第二小学校)
- ・ 実施者 :各回 5~7 名、延べ 30 名
- ・ 対象者 :子どもとその保護者、一般市民、約 800 人
- ・ 備 考 :前年度比 1 会場減

イ 普及啓発事業受託実施及び派遣依頼事業

- ・ 内 容 :行政・自治体における環境イベント受託実施及び人材派遣
- ・ 結 果 :実績なし
- ・ 備 考 :前年度比 1 会場減

ウ ホームページ、メールマガジン等による普及啓発事業

- ・ 内 容 :ホームページ、メールマガジンおよび Facebook ページ等による地球温暖化防止、アース・エコ活動事例紹介等による普及啓発
- ・ 日 時 :ホームページおよび Facebook ページは活動状況に応じ適宜更新、メールマガジンは 24 回発行
- ・ 実施者 :2 名
- ・ 結 果 :
 - ホームページからの問い合わせ 1 件
 - メールマガジン配信先 会員 27 名、会員外 65 名
 - メディア等への出演なし

③ その他この法人の目的を達成するための事業

ア 横浜市地球温暖化対策推進協議会への参加

- ・ 内 容 :地球温暖化対策の市民への普及啓発とその実施推進及び他団体との連携協力
- ・ 日 数 :総会 1 日、幹事会 3 日出席
- ・ 場 所 :横浜市内の会議室等
- ・ 実施者 :毎回 1 名出席

イ さがみはら地球温暖化対策協議会への参加

- ・ 内 容 :環境学習、環境活動の実施推進及び他団体との連携協力

- ・ 日数 : 総会 1 日、調査研究部会 2 日、対策部会 8 日、その他の活動参加 4 日
- ・ 場所 : 相模原市立環境情報センター、相模原市民会館
- ・ 実施者 : 毎回 1 名参加

ウ その他の地域における地球温暖化対策事業への参加

- ・ 内容 : 各地域の市民活動支援センター等の事業への参加、会員の活動への支援
- ・ 結果 : 実績なし

エ 新規教材・プログラムの開発および整備作業

- ・ 内容 :
 - チラシ、ポスターの作成と作製
 - 環境教育テキスト、および環境教育における個々の実験説明マニュアルの作成及び更新
 - 新規教材・プログラム作成及び整備
- ・ 結果 : 実験説明マニュアル、説明カードの内容を随時更新した。
- ・ 内容 : 環境教育・環境学習の為に新規教材・プログラムの開発、および整備
- ・ 実施者 : 4 名
- ・ 結果 :
 - 地球温暖化解説のパンフレットの内容を更新し、増刷した。
 - 活動内容を紹介するパンフレットを作成した。
 - 「スカイツリー」「クリスマスツリー」の工作キットを改良、地域環境学習で実施した。
 - 「温度差発電」「クリップモーター工作と電磁誘導」のプログラムを改良、環境教育・環境学習および地域環境学習で実施した。
 - 地球温暖化適応策をテーマとするプログラムを開発し、地域環境学習で実施した。

オ 助成事業・寄附金・表彰 応募実施事業

- ・ 内容 : 行政・自治体・企業等における助成事業・寄附金、表彰に応募(応募規定による)
- ・ 結果 : 横浜市市民協働推進部「よこはま夢ファンド」の助成金を申請し助成を受けた。

カ インターンシップ学生受入

- ・ 内容 : 大学のインターンシッププログラムに協力し、インターン学生を受け入れる。
- ・ 対象者 : 大学及びインターン学生
- ・ 結果 : 希望者がなく、実績なし

キ 会員の自己研鑽支援事業

- ・ 内容 : 研修旅行、勉強会、会員の自主研鑽によるスキルアップ等
- ・ 結果 :
 - 日光周辺地域の自然観察および文化財見学のために 2 日間の会員研修旅行を開催し 7 名が参加した。
 - 毎月 1 回開催している勉強会に毎回会員 11~18 名が出席し相互啓発をおこなった。
 - 株式会社大川印刷本社工場(横浜市戸塚区)の見学会を開催し 8 名が参加した。
 (いずれも神奈川県環境学習リーダー会エネルギー部会と共同開催)

以上

前事業年度の活動計算書

(特定非営利活動に係る事業会計)

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人の名称		特定非営利活動法人 アース・エコ	
単位:円			
科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	77,750		
賛助会員受取会費	0	77,750	
2 受取寄附金			
受取寄附金	167,971	167,971	
3 受取助成金等			
受取助成金	135,000	135,000	
4 事業収益			
事業収益	675,161	675,161	
5 その他収益			
受取利息	100	100	
経常収益計	1,055,982		1,055,982
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
福利厚生費	165,200		
人件費計	165,200		
(2)その他経費			
運送通信費	95,806		
交通費	325,105		
消耗品費	259,946		
事務用品費	32,597		
諸会費	11,500		
雑 費	3,004		
その他経費計	727,958		
事業費計		893,158	
2 管理費			
(1)人件費			
福利厚生費	13,300		
人件費計	13,300		
(2)その他経費			
租税公課	0		
運送通信費	6,829		
交通費	31,637		
消耗品費	2,365		
事務用品費	2,305		
地代家賃	76,140		
保険料	2,100		
賃借料	13,900		
広告宣伝費			
雑 費	1,585		
その他経費計	136,861		
管理費計		150,161	
経常費用計			1,043,319
当期正味財産増減額			12,663
前期繰越正味財産額			2,009,070
次期繰越正味財産額			2,021,733

前事業年度の貸借対照表

(特定非営利活動に係る事業会計)

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人の名称	特定非営利活動法人アース・エコ
--------------	-----------------

単位:円

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	2,020,983	
売掛金	1,500	
前払費用	2,250	
流動資産合計		2,024,733
2 固定資産		
器具備品	0	
固定資産合計		0
資産合計		2,024,733
II 負債の部		
1 流動負債		
未払費用	0	
前受金	3,000	
流動負債合計		3,000
2 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		3,000
III 正味財産の部		
正味財産		2,021,733
(当期正味財産増加額)		12,663
負債及び正味財産合計		2,024,733

前事業年度の財産目録

(特定非営利活動に係る事業会計)

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人の名称		特定非営利活動法人アース・エコ	
		単位:円	
科	目	金額	
I	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金 現金手許有高	115,942	
	普通預金	922,387	
	定期預金	982,654	
	売掛金	1,500	
	前払費用	2,250	
	流動資産合計		2,024,733
2	固定資産		
	器具備品	0	
	固定資産合計		0
	資産合計		2,024,733
II	負債の部		
1	流動負債		
	未払費用	0	
	前受金	3,000	
	流動負債合計		3,000
2	固定負債		
	長期借入金	0	
	固定負債合計		0
	負債合計		3,000
III	正味財産の部		
	正味財産		2,021,733